

## 修学旅行で潜水艦・護衛艦を研修

### 宮城教育大学附属中学が横須賀で「総合的な学習の時間」



潜水艦「やえしお」の前で記念撮影



護衛艦「いかづち」乗員の説明に  
真剣に耳を傾ける生徒

神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 荒木3陸佐）は、9月26日（金）、宮城教育大学附属中学校（宮城県仙台市）の潜水艦等研修を支援した。

この研修は、修学旅行の日程に組み込まれ「総合的な学習の時間」という位置づけで行われたもので、多数の希望者から選抜された9名の生徒が、事前に海上自衛隊の歴史や活動などの調査レポートを提出して臨んだ。

生徒を乗せたマイクロバスが米海軍横須賀基地に入り、やがて潜水艦「やえしお」（第2潜水隊群第4潜水隊）の黒い船体が近づくと、一斉に大きな歓声が上がった。艦内の研修では、隊員が魚雷の側で寝起きしていることを知ると、「えっ、本当にここで寝るの」、「怖くないの」と驚いていた。護衛艦「いかづち」（第1護衛隊群第1護衛隊）の研修では、「日本の防衛を担う難しさ、また、喜びは何か」、「船の名前は何か平仮名なのか」などの質問を投げかけていた。宿舎に戻ると出迎えた先生に、「貴重な体験ができました」と、興奮気味に報告していた。

川崎出張所は、「今後も、自衛隊に関心を持つ全国の生徒に自衛隊の使命と魅力を伝え、理解者、協力者の拡大に繋げていきたい」としている。

## 伊勢原観光道灌まつりで自衛隊をPR



自衛隊広報ブース



記念撮影

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平2陸尉）は、10月4（土）、「第47回伊勢原観光道灌まつり」に、広報ブースを出展した。

この祭りは、江戸城築城で知られ、伊勢原でその生涯を閉じた戦国の武将・太田道灌にちなんで名付けられたお祭りで、「道灌公鷹狩り行列」、「北条政子日向薬師参詣行列」、「観光総踊り」などが行われる市内最大のイベントである。祭の2日間で約30万人（市広報発表）が駅周辺の歩行者天国などに訪れた。

自衛隊の広報ブースでは、平塚募集相談員会副会長をはじめ、多くの募集相談員に駆けつけていただき、自衛隊の災害派遣の写真パネルや非常用糧食（缶めし）の展示のほか海上自衛隊の制服と迷彩服の体験試着を行ったが、制服姿をカメラに収めようと、長蛇の列ができるなど、大盛況であった。

平塚地域事務所は、「今後も、地域のイベントで積極的に自衛隊をPRして、防衛基盤の拡充に努める」としていく。